

「美和町地域協育ネット」の取組について

～感動ある体験活動を軸に～

【岩国市 美和中学校区】

地域の概要

美和中学校区は、山口県最東部、標高 150m の山代高原に位置し、南は旧岩国市、東は広島県大竹市に接しています。校区には、2 保育所（さかうえ・みわ保育園）、2 小学校（美和東・美和西小学校）・岩国高等学校坂上分校があり、保・小・中・高と地域が連携した、地域参画による感動ある様々な体験活動を軸とした教育に取り組んでいます。

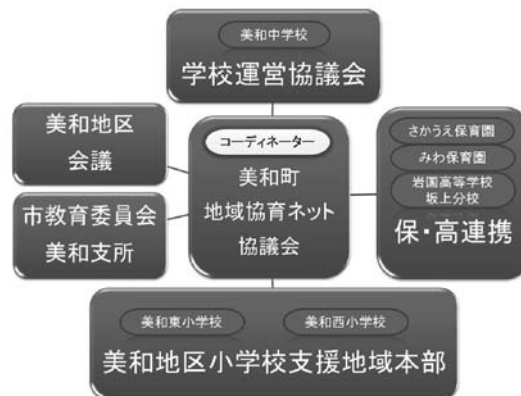
人口	4,247 人	
世帯数	1,968 世帯	
対象校及び 児童生徒数	美和中学校	97 人
	美和東小学校	95 人
	美和西小学校	90 人

組織の内容

美和中学校は平成 19・20 年度コミュニティ・スクール推進事業山口県調査研究指定校として、また、美和東小学校・美和西小学校は平成 23 年度から学校支援地域本部を設置して、地域と連携した教育活動を展開してきました。また、美和中学校区では、小中高連携教育協議会も設置し、岩国高等学校坂上分校の協力のもと、平成 26 年度岩国市キャリア教育推進事業に取り組んでいます。

このような背景を基盤にし、今年度美和町地域協育ネット協議会を再編して、組織的・系統的な教育支援体制の構築を図っています。協議会では、小・中・高のキャリア教育と関連させて、学び（知）・生き方（心・徳）・健康（体）の三つの部会を組織し、地域の方々と外部講師を招いて、感動のある体験活動を展開しています。更に、今年度は「地域が学校にできること・学校が地域にできること」をテーマに、学校から地域に元気を発信する活動もスタートしました。

学校教育関係者	人数
校長(小・中)	3 人
教頭・事務局	4 人
市教育委員会美和支所長	1 人
コーディネーター	人数
学校支援地域本部(小)	1 人
学校運営協議会(中)	1 人
地域代表	人数
放課後児童クラブ	8 人
婦人会	1 人
老人クラブ	1 人
市議会議員	1 人
民生委員・児童委員	1 人
スポーツ推進委員	1 人
PTA代表	人数
会長・副会長(中)	3 人
評議員(高)	2 人
顧問	人数
元美和町教育長	1 人



特色・重点的な取組

今年度は、美和の子どもたちが将来自立した社会人に成長するため、「家庭や地域と連携した協力体制」「小中高連携による 12 年間の組織的・系統的な感動のある体験活動」に力点を置いています。

○家庭や地域と連携した協力体制づくり

中学校の学校運営協議会に美和地区小学校支援地域本部を合わせ、美和町地域協育ネット協議会を再編成しました。

○小中高連携教育協議会による教育活動の推進

- ・連携教育推進協議会を立ち上げ、二つの分科会を設置し、美和中学校区の全教職員で地域連携による教育活動を展開しました。分科会は授業力向上部会として「小小連携」「中高連携」「特別」の 3 部会、領域部会として「授業づくり」「基本的生活習慣育成」「人間関係づくり」「郷土学習」の 4 部会からなります。
- ・地域と連携し、子どもたちに知力・体力・心力を養わせる独自の学習プログラム（美和学）を研修し、実践しています。
- ・教職員の資質向上の一環として、地域協育ネット協議会会長を講師に綱紀保持研修会を開催するなど、積極的な協力体制を築くことができました。

○学校・地域課題改善プロジェクト

地域協育ネット協議会が参加して行うことで、子どもから大人までが地域の課題を「みんな」で考えます。また、「夢プロジェクト」は子どもたちに未来へ向けた志や勇気、元気を与えています。

主な活動の紹介

■活動事例1 小中高連携教育協議会「学びの仕組み」

小小連携ではキャリア教育年間指導計画や合同学習、中高連携では交流授業の内容、小中高連携では心の教育や教育相談などについて話し合いました。

また、「ノーテレビ・ノーゲームデーみわ週間」や「美和学習プログラム(美和学)」についての取組も確認されました。



小中高連携教育協議会

■活動事例2 体験学習・ふるさと交流授業「子どもたちのために一まとまり」

婦人会、老人クラブ、JA美和など美和地区を支える団体の方々による小学校の体験学習や中学校のふるさと交流学習で、子どもたちは感動体験を味わいます。これらの感動体験は、地域が大切に受け継いできた産業や伝統・文化への興味を児童生徒に与え、「興味から継承する子ども」を生みしました。



森林体験学習

■活動事例3 ミニ「熟議」(「地域が学校にできること、学校が地域にできること」)

地域や学校の課題を生徒や教員、保護者、地域の方で「熟議」します。12月には「部活動」をテーマにミニ「熟議」を開催しました。「希望する部活動がない」「予算や設備が十分でない」などの課題を学校運営協議会で協議することで、改善案や解決策を模索します。



ミニ熟議

■活動事例4 美和中夢プロジェクト「体力向上」

アーチェリー・バドミントン・バスケットボール・陸上競技・野球・マラソン(視覚障害者ランナー)の世界大会出場者・日本代表選手・国体選手によるスポーツ教室(学期1~2回)を開催しました。このプロジェクトを通して、「運動が大好きな美和の子ども」を育てたいと考えています。



夢プロジェクト

■活動事例5 福島県ひまわりプロジェクト「心の教育」

校内の空いた土地を教員・生徒・保護者で耕し、福島県から取り寄せたひまわりの種2000粒を植えました。猪被害や長雨で生育が心配されましたが、毎日生徒と教員が管理し、8月後半には学校周辺がひまわり一色となりました。現在、学校は卒業式に向けて「菜の花プロジェクト」を進行中です。



ひまわり畑

成果と課題

美和中学校区の各学校は、今年から「地域協育ネット」を基盤にし、小中高連携を意識したキャリア教育を推進しています。また、本校区のキャリア教育は感動ある体験活動を軸としており、豊かな自然と地域の温かさに包まれて、小・中・高をつなぐ組織的・系統的な支援が進められています。

そこで、活動を展開するにはコーディネーターによる地域との連絡調整が最も重要となります。美和町地域協育ネット協議会の再編によりコーディネーターが複数となり、体験活動やふるさと交流学習などの授業において、子どもたちの笑顔と地域で活躍できる場面や場所が広がりました。

また、今年是小中高連携教育推進協議会を見直したことで、学校と地域が協働して美和の子どもたちを育てる教育支援体制が整備されつつあります。学校が地域に向けて元気を発する拠点となるよう、人材バンクの整備、「地域協育ネット」の拡充に取り組んでいきたいと考えております。

今後の取組

今後は、①情報発信と地域の方の参加促進②地域協育ネット協議会の長期活動体制づくり③美和町学習プログラム「美和学」に位置づけたキャリア教育の系統的・計画的実施④保小中高連携教育の推進に重点的に取り組みます。

更に、現在進めている「美和人材バンク」づくりや美和町周辺の「地域協育ネット」と連携することで、玖北地区の豊かな資源を活用し、更に充実した体験学習・「美和学」に取り組むたいと思います。

また、来年度は美和の自然を生かしたスポーツ・コミュニティや自然体験研修にも取り組み、学校も地域も元気にする活動を展開したいと考えています。